

「区制施行 90 周年記念式典」を開催しました

10月1日、杉並区は区制施行90周年を迎えました。

それを記念して、杉並公会堂にて記念式典を開催し、約600名の来場者と共に100周年につながる大きな節目を一緒に祝いました。

10月1日に杉並公会堂で開催された杉並区制施行90周年記念式典では、90周年の歴史の中でとりわけ象徴的な「5つのストーリー」に関連した演目や動画上映等があり、大きな盛り上がりを見せました。

第1部では、区政や地域の発展に貢献いただいた方199名・29団体に感謝状を贈呈しました。この内5名が代表者として、区長から表彰を受け、その功績に盛大な拍手が送られました。

第2部は、日本フィルハーモニー交響楽団弦楽アンサンブルによる90周年記念曲 交響詩《鼓吹（こすい）の桜》の演奏からスタート。《鼓吹の桜》は、区を代表する桜の名所・善福寺川の桜をメインに、高円寺の阿波おどり、阿佐谷のジャズストリートなど、杉並の様々な風景が織り込まれ、まさに「ふるさと・杉並」を想起させる曲です。

また、「3.11自治体スクラム支援等の活動」、「原水爆禁止署名運動」、「東京ごみ戦争」それぞれの動画上映が行われ杉並区の歴史を振り返りました。

そして、浪曲師・玉川太福氏による浪曲「内田秀五郎一代記」。約100年前の杉並で数々の功績を残した旧井荻村村長の半生を浪曲で口演し、会場は笑いと拍手に包まれました。

最後は、東京高円寺阿波おどりの演舞。連協会所属連から65名の精鋭が集まったの演舞は、華麗かつ迫力満点で舞台でのアレンジも相まって圧巻でした。太鼓の音は、ホール全体にまで響き渡り、割れんばかりの拍手の中、式典は幕を閉じました。

この式典の様子は、準備ができ次第、YouTube 杉並区公式チャンネルで、ご紹介します。

https://www.youtube.com/c/suginami_tokyo



【問い合わせ先】

記念事業担当：03-3312-2111（代表）

広報課：03-3312-2111（代表）